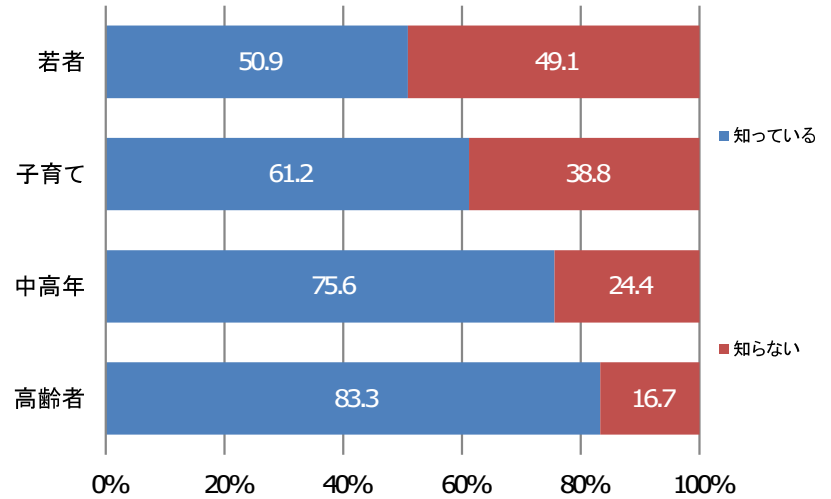
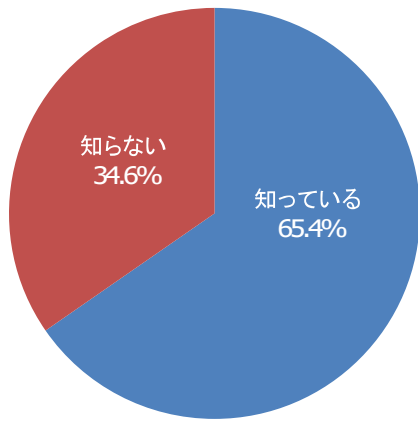


<浜松市の救急について>

問1 救急車の出動件数が年々増加していることの認知度

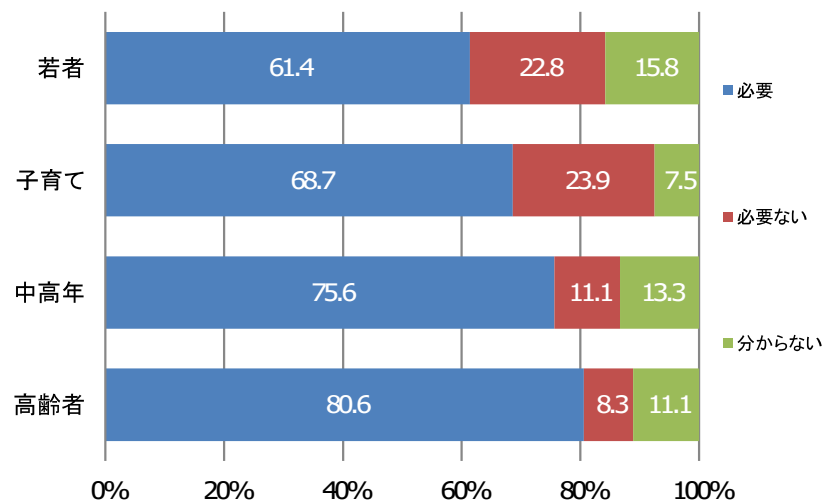
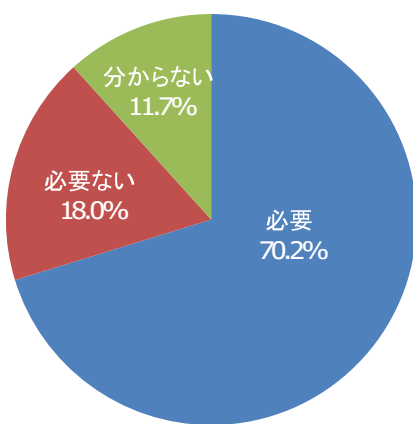
(n=205)



- 救急車の出動件数が年々増加していることの認知度については、「知っている」が約7割となっています。
- 世代別にみると、世代が高くなるにつれて「知っている」の回答割合が高くなっています。

問2 救急車を要請するか迷った時の相談窓口が必要かどうか

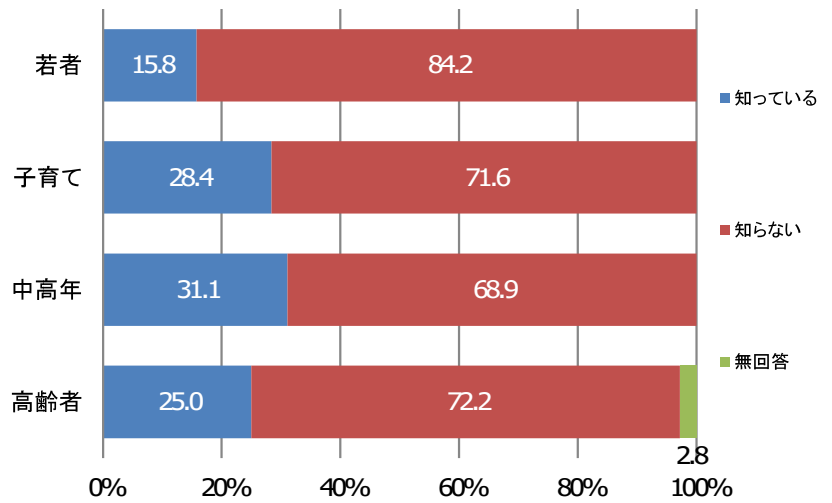
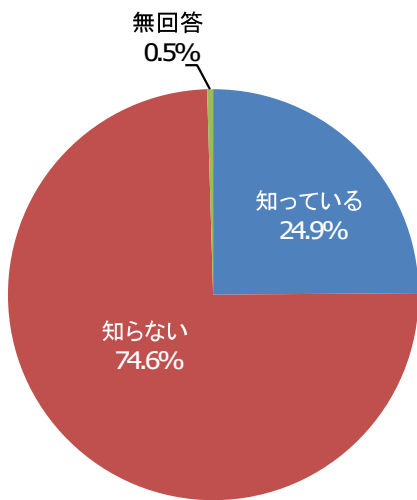
(n=205)



- 救急車を要請するか迷った時の相談窓口が必要かどうかについては、「必要」が約7割となっています。
- 世代別にみると、世代が高くなるにつれて「必要」の回答割合が高くなっています。

問3 救急車の適正利用に関する広報の認知度

(n=205)

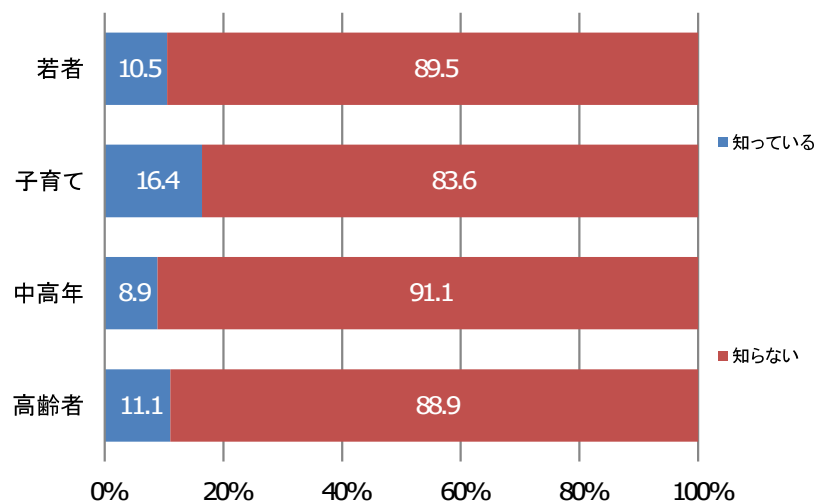
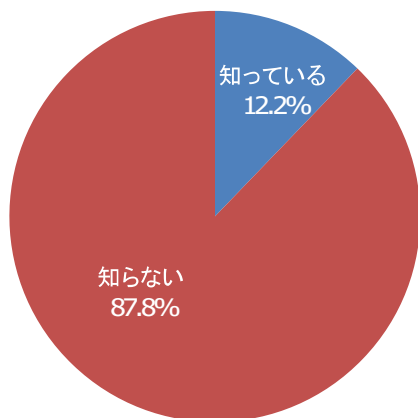


- 救急車の適正利用に関する広報の認知度については、「知っている」が約2割となっています。
- 世代別にみると、若者の約2割、子育て・中高年・高齢者の約3割が「知っている」と回答しています。

問4 浜松市消防局が発行している「119救急ガイド」※の認知度

(n=205)

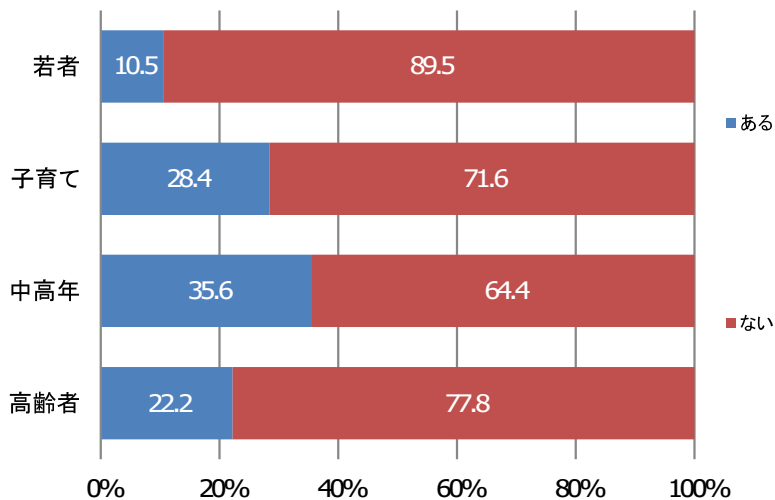
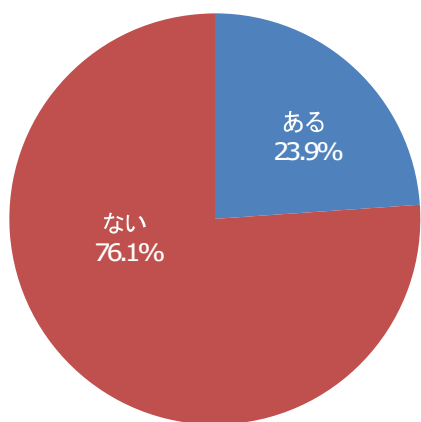
※ 119救急ガイド: 119番通報のポイントや心肺蘇生法などを掲載



- 浜松市消防局が発行している「119救急ガイド」の認知度については、「知っている」が約1割となっています。
- 世代別にみると、若者・中高年・高齢者の約1割、子育ての約2割が「知っている」と回答しています。

問5 消防署で開催される救命講習の受講経験

(n=205)

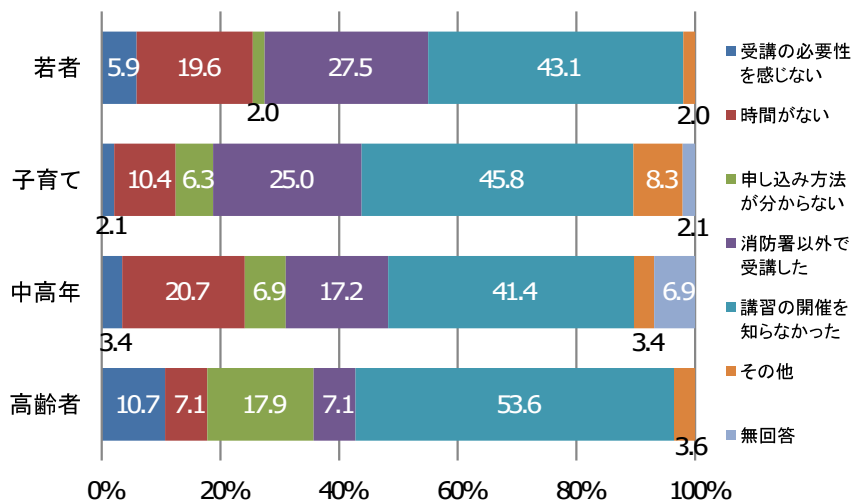
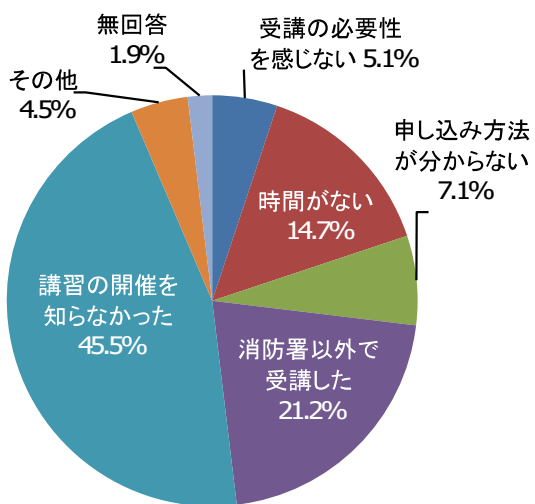


- 消防署で開催される救命講習の受講経験については、「ない」が約8割となっています。
- 世代別にみると、若者の約9割、子育ての約7割、中高年の約6割、高齢者の約8割が「ない」と回答しています。

問6 消防署で開催される救命講習を受講したことがない理由

(n=156)

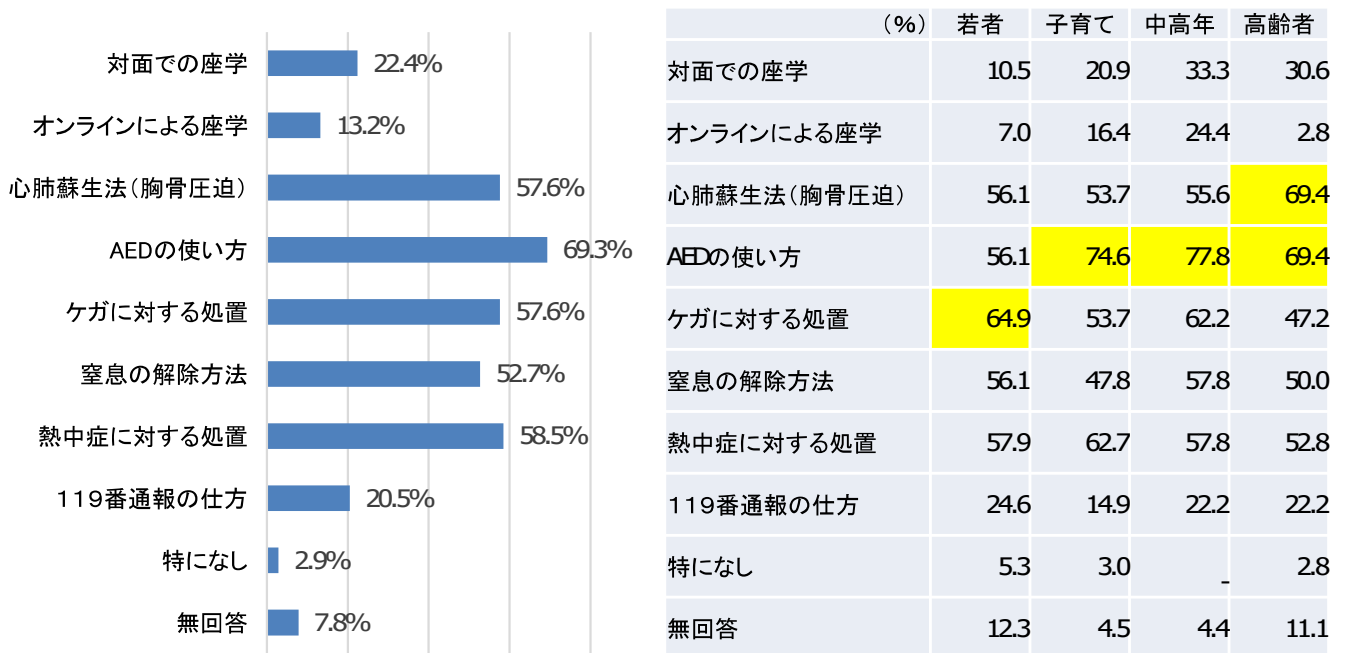
(問5で「2 ない」と回答した方)



- 消防署で開催される救命講習の受講したことがない理由については、「講習の開催を知らなかった」が約5割と最も多い回答となっています。
- 世代別にみても、全ての世代で「講習の開催を知らなかった」が最も多い回答となっています。

問7 救命講習を受講・再受講の際に学びたい内容

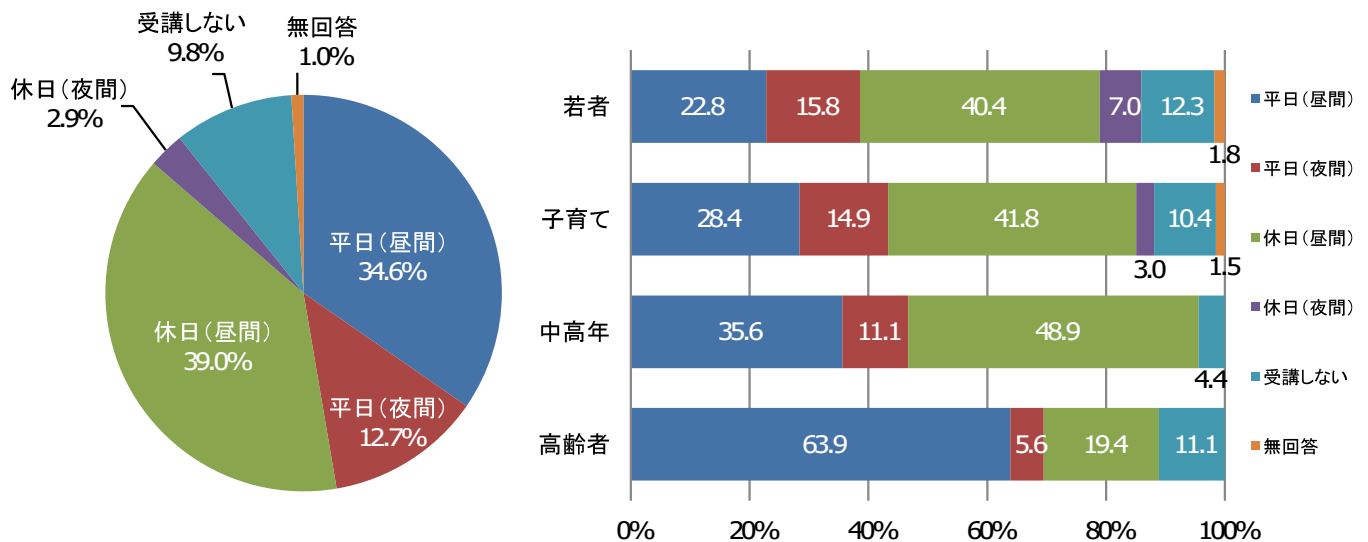
(n=205 複数回答)



- 救命講習を受講・再受講の際に学びたい内容については、「AEDの使い方」が約7割と最も多い回答となっています。
- 世代別にみると、若者では「ケガに対する処置」が、子育て・中高年・高齢者では「AEDの使い方」が最も多い回答となっています(高齢者では「心肺蘇生法(胸骨圧迫)」も同率)。

問8 救命講習を受講・再受講の際の希望する受講日

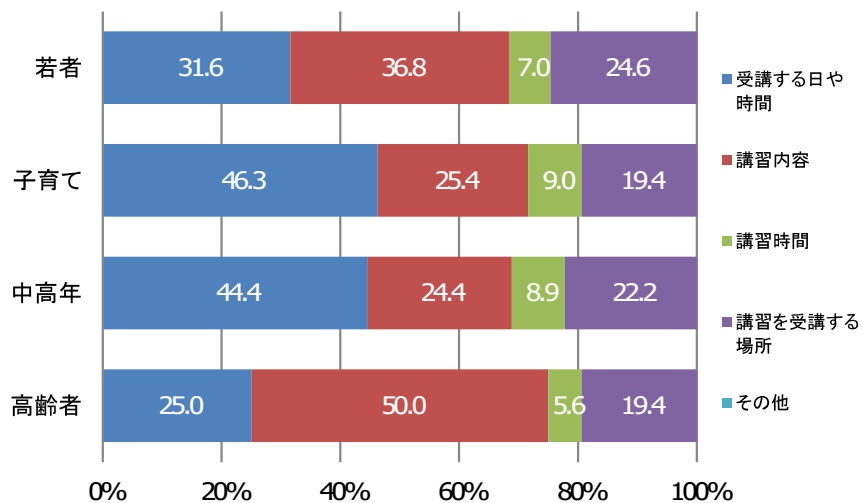
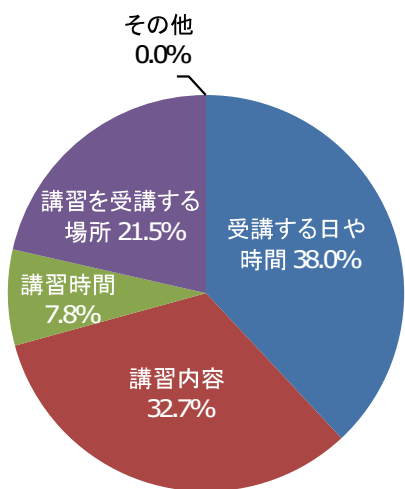
(n=205)



- 救命講習を受講・再受講の際の希望する受講日については、「休日(昼間)」が約4割と最も多い回答となっています。
- 世代別にみると、若者・子育て・中高年では「休日(昼間)」が、高齢者では「平日(昼間)」が最も多い回答となっています。

問9 救命講習を受講する際に重要視すること

(n=205)



- 救命講習を受講する際に重要視することについては、「受講する日や時間」が約4割と最も多い回答となっています。
- 世代別にみると、若者・高齢者では「講習内容」が、子育て・中高年では「受講する日や時間」が最も多い回答となっています。